

新宮山彦ぐるーぷ第2089回

### 前鬼・三重の滝摩看板を杭に取り付け

◇実施日：2020年7月29日（水）曇り

◇参加者：沖崎吉信、梶野照雄

2名

27・28日に植平さんが修行で前鬼に入ると聞き、28日に看板を杭に取り付ける準備をしていたが、植平さんが体調不良で前鬼入りを中止し、また28日は雨の予報だったので29日に実施することになった。29日には聖護院の4〜5名が三重の滝に行くらしく、五鬼助さんも上がってこられるらしいので、小仲坊迄車で入れるはずだった。



ゲート前で

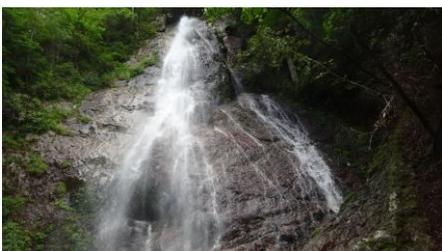


鍵か掛かっていた



関伽坂峠

8時15分に林道ゲート着、着替えて沖崎さんを待つ間にゲートのチェーンを確認する。あれ？鍵が掛ったままになっている。五鬼助さんまだなのか、と思っていると沖崎車が到着。鍵が掛っているの歩いて小仲坊へ向かう。5分位歩いたところで後ろからクラクションの音がした。五鬼助さんだった。ゲートまで戻って車で小仲坊へ。小仲坊で15分程話をして出発した。聖護院の修行は天候が悪いので中止になったそう。



垢離取場を渡る

標識を設置

三重の滝に到着

25分で関伽坂峠、少し休憩して垢離取場へと下る。垢離取場手前の鉄階段付近から水音が大きく聞こえだし、渡れるか不安がよぎる。垢離取場に到着、先月は石を並べて渡ることが出来たが水量が多く、石を置くくらいでは渡ることが出来ない。仕方なく靴を脱いで裸足で渡ることになった。浅い所で踝あたり、一番深いところは膝下迄あった。渡り終えて靴を履き三重の滝を目指す。垢離取場から登りだしてすぐの間違いやすい所に標識を立てた。

三重の滝手前で頭上を遮る斜木があったが、帰りに切ることにして階段を下る。階段の上から聞こえる水音は大きく、対岸に渡れるか不安があった。谷まで降りるとやはり水量は多く、水しぶきで岩肌は全て濡れていた。手前の渡りやすそうな所へ降りるが、最初の岩を降りるのに一苦労、おしりを付けてゆっくり降りたので、おしりが群れてしまった。先行した沖崎さんは強引に川を渡るが、途中でドボンして靴のまま渡っていった。



仮止めの看板を外す

杭に取り付け完了

なんとか左岸に渡り終え、先月立木に括りつけた看板を外して杭に取り付ける。取り付けはトラブルなくスムーズに終了し昼食を摂る。

食後、小仲坊に引き返す。上流側の岩伝に渡ったが、間隔が少しあり落ちないように慎重に動いた。沖崎さんはすでに靴のまま渡っているの、帰りもそのまま渡っていった。

斜木をノコで切って排除、3ヶ所に標識を立てて小仲坊に帰着した。



斜木の切除



標識を設置



五鬼助ご夫妻と

沖崎さんは腕に一ヶ所、私は首筋に一ヶ所それぞれヒルの被害があった。

(記：梶野)

### 行動タイム

小仲坊 09:20 → 10:45 関伽坂峠 → 10:23 垢離取場 10:35 → 11:17 三重の滝 11:45 → 12:52 垢離取場 → 13:53 関伽坂峠 → 14:18 小仲坊